



ブラック・スワン食糧保障

ブラックスワン食糧保障メールマガジン 2022年8月配信号

「オランダの農民一揆」

まだまだ暑い日が続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？
最近はどんどんインフレが進行しているせい、新規の加入者様のペースがかなり上がってまいりました。

昨今のウクライナ戦争で、ただでさえ食糧危機が懸念される中、ヨーロッパで更にとんでもないことが進行しているというニュースが入ってきましたので、ご紹介いたします。

皆さんはオランダという国がアメリカに次ぐ‘世界第二位の農産物製品輸出国’であるという事実をご存知でしょうか？
オランダは国土が小さく、しかも低地で、風車で水を排出しなければならない様な、およそ農業に向いているとは言えない環境なのですが、非常に効率の良い農場経営で世界の食糧事情に大きく貢献している国です。

このオランダの農業をEU本部が攻撃し、先月から農民たちが抗議デモを行っています。具体的には、牛のゲップが環境に悪いという事で、牛の数を30～50%削減しろだとか、牛の糞をたい肥として使うことの禁止。

また農家が肥料に使う窒素やアンモニアが環境に悪いとして規制をかけようとしており、これが成立してしまうと農家が肥料を使えなくなってしまいます
更に農民を半減させろだとか、農地の接収など、毎週のようにEU本部からとんでもない要求が突きつけられ、既にオランダ農民には11人の自殺者、先日は何もしていない16歳の農民に警察が発砲し、怒った農民たちが警察署をトラクターで囲むなど大騒ぎになっています。

更に、オランダ国内では国民投票法が廃止されて、国民がEUに反対できないようになってしまい、オランダ独自の農業政策はもちろん、エネルギー政策さえも独自では展開できない様になってきています。

世界第二位の食糧輸出国を攻撃し、潰してしまえば食糧危機を起こしたり、世界の国々を食糧でコントロールする事は簡単にできるようになります。
背後にはダボス会議で有名な世界経済フォーラムがあり、ニュージーランドやカナダ、スリランカでも同じ様な事が起こっているとの事です。

2015年から公衆衛生やワクチンを声高に叫び、モデルナ社に投資して大儲けしたビルゲイツが、既に全米最大の農場主になっていることから、次の予想はわかりやすい展開になっています。

世界各国から自国の文化の尊重や、半グローバリズムを標榜する、いわゆる‘草の根保守’を自称するジャーナリストが多数入り、現地からレポートが送られてきています。日本からは我那覇真子さんがレポートを配信されているので是非見てみて下さい。

一方、この様な中で反グローバリズムや食の安全を党是とする日本の参政党現象と同じ様な現象がオランダでも起こっており、FVDという政党が急速に力をつけてきています。この党首のペピンさんは非常な親日家で、広島に留学されていたらしく日本語もペラペラ、「オランダでもNHKや朝日新聞のような‘マスゴミ’があふれています」と日本語で訴えられていたのが印象的でした。

また「地獄への道は善意で舗装されている」という今の状況にピッタリのことわざも紹介されていました。

<https://www.youtube.com/watch?v=Jl-Gwk7QFf8>

<https://www.youtube.com/watch?v=ccdqyxFTqvc>

www.youtube.com/watch?v=OgaGZhVDk7A

<https://www.youtube.com/watch?v=VuUX8IEN4Ik&t=2329s>

<https://www.youtube.com/watch?v=SmXN1lkqXXQ&t=971s>

www.youtube.com/watch?v=yOvNwanTjtE

ブラックスワン食糧保障 草間 弘人

ブラックスワン食糧保障のお申込みはこちら

正しく表示されない場合は[こちら](#)
今後も引き続きメールの受信を希望される方は [こちらをクリック](#) してください。今後メールの受信をご希望されない方は、こちらから[配信停止手続きが行えます](#)。

大阪市港区 弁天1-2-1

[配信停止](#)

